



発行所 大熊町公民館 電話(大野)呼14番
発行者 西名清
印刷所 浪江印刷所 電話58番

町社会教育史上劃期的な偉業 公民館の新築なる

八千町民の憩の家、町社会教育の進のよりどころとして、中央公民館が落成した。大野小学校旧校舎の古材を利用したと云い、僅かに合掌、根太、間柱などにその姿を見るだけで、総ては新材であり、大熊町始めての直営工事として、総坪数六十五坪、総工費一〇二万円(坪一萬五千五百円)をもつて、完成した本工事は、訪れる内外の人々にとつて、驚異と賞讃のまことであり、小畑町長、石田町議会議長、ともに去る八月十八日開かれた、町議会議(協議会)の席上「非常に格別に出来まして云々」と喜びに充ちて報告した。

青年層の協力

昨三十二年十一月二十八日の議会で、大野小学校取壊し材のうち西半部を公民館建築材として流用し決定を見たが、十二月十六日取壊し開始と共に青年団員及び青年

年学級生あけて材料の整理、運搬に協力し、三十三年一月二十八日に於て、大野小学校取壊し材のうち西半部を公民館建築材として流用し決定を見たが、十二月十六日取壊し開始と共に青年団員及び青年

鳥の止まり木から新築まで

年学級生あけて材料の整理、運搬に協力し、三十三年一月二十八日に於て、大野小学校取壊し材のうち西半部を公民館建築材として流用し決定を見たが、十二月十六日取壊し開始と共に青年団員及び青年

落成祝賀式当日

吉田収委員は感涙にむせびながら語る

「今度の公民館建築は町民各位の絶大な協力により迅速に而も安価に出来上つた。特に館長及吉田主事の努力には頭が下つた。此の心からなる熱意と協力を当公民館の魂として発足し、今後大いに活用して頂きたい。」

「あづま号」来町

8月27日県移動図書館「あづま号」来町、八十冊の図書貸付を決定した。図書グループ、文化団体代表等十数名参加。懇談から一週日内の返却、またがし停止、書物に標示等をしてし様に注意し合う公民館から一団体、個人とも、とん／＼利用して欲しい。購入希望図書を知らせて欲しい。



公民館活動を一段と強化 運営審議会の新態勢さまる

9月10日、昭和三十三年第一回目の公民館運営審議会を開催。次の諸件を審議した。
① 委員長、副委員長互選の件
② 委員長任期満了に伴う後任について
③ 社会教育活動推進方策について
④ その他

熊謙次郎氏委員長に再選

前審議会委員の任期満了に伴い、新委員間に於て互選の結果、熊謙次郎氏が委員長に、勝山力衛氏(大中校長)が副委員長に就任した。

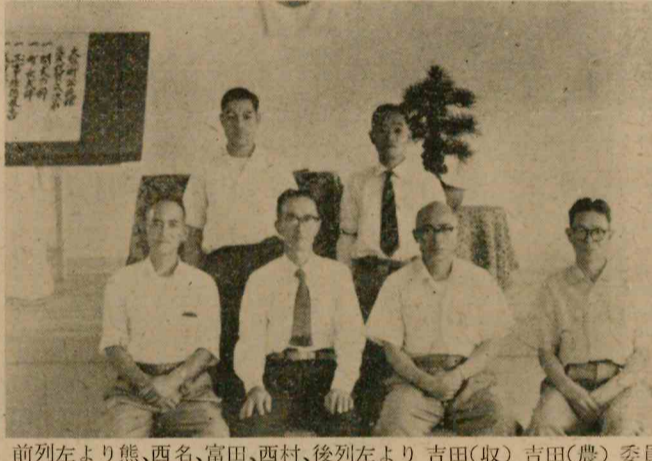
各部委員決定す

ついで各々各部委員に専任し、広町民の気持を反映させて公民館に熊謙次郎氏が委員長に、勝山力衛氏(大中校長)が副委員長に就任した。

(大熊町)戦没者慰霊(祭)挙行

秋雨けむる9月23日、公民館を祭と国家の難に殉じた英霊の在りし場に、戦没者慰霊祭が神式、及び日思い感慨を新たにしたが、石田町議会議長は英霊と遺族を前に、遅くとも、来秋の慰霊祭迄には立派な「英霊の碑」を建立その遺族を代表して「トッ」と謝辞を述べ、横田遺族会長の言葉に一同涙を流した。波乱を極めた明治以降の祖国の姿

的建築の一步を踏み出した。五月二日第二回建築委員会の結果敷地を現在地に決定。同月十六日議案第23号により予算確定。新たに西村正議員、吉田収議員が建築委員として追加指名された。五月二十三日、地鎮祭挙行。爾来、上野上方面有志の協力及び富岡山林署の援助により、用材の買収、搬出、運搬、製材と、日曜、祭日を目して強行し、六月二十日上棟式。六月二日決定。ついで四月二十八日の議案十九日当初計画をに於て予算概定の上、建築委員と変更して建具を新築して、熊謙次郎議員、富田重明議員、西名清公民館長、吉田農夫議員、十五日大工工事を公民館主事を指名。同日時を移して完了した。引続き第一回の建築委員会を開き、具体附屬諸工事を終了



前列左より熊、西名、富田、西村、後列左より吉田(収) 吉田(農) 委員

し、八月二十日県社会教育課始め内外の関係者を招待し、落成式を挙行した。着工以来丁度九十日。此の間、直接衝に当たった当事者の苦心と労苦は言語に絶するものがあり、工事を進行の各分野を担当した諸氏亦真剣な協力態度を以て終始したが、落成式に当り町長名を以て芳々感謝状を贈り感謝の意を捧げられた。

「根本的な敬老対策を」
敬老会は年毎に該当者にとつて楽しみ行事であり、まち速い日となつて来たが終了後各地区より喜びと満足の状況が伝えられて居る。
○熊川の某さんから「今年は通知が遅いが、毎日待つて居たんですが、大喜びで出席。終つてから部室まで送り、部室婦人会が主となつて、うどんなどを作つて、もてなしたんです。
「近頃は本当に大変なもので、それに婦人会の踊りなども大変なものだ。」とそれはそれは喜んで居りましたよ。

「根本的な敬老対策を」
単に一日だけの敬老会でなく、根本的な敬老対策を公民館に於ても昨年度の与論調査の結果に基づいて着々と研究を進めて居り、年度始めにも町敬老年金設置に關し公民館運営審議会、民生委員会、婦人会、青年団、各代表による諸願書が当局に提出されたが町財政困難のをりから、その実現を見るに至らなかつた。
近く寿学級を開設してとしよりの生活設計、としよりの医学、若し世代ある人生とする為、等の問題を話し合つて行き度い。

「町」の「う」ご「き」
◎ 被保険者代表委員 志賀隆宣 半谷隆教
◎ 医師、歯科医師又は 薬剤師代表委員 猪狩正雄 武内 茂
◎ 公益代表委員 吉岡善一 西名 清
国保職員発令 次の三氏が、国保係として
10月9日(木) 結核検診
11日(土) ツツ反判定
13日(月) 結核検診
14日(火) 大熊町運転者 役員会
15日(水) ツツ反判定 小中学校中双方部 体育主任会
10月12日、中央青年学級開講式終了後、学級生一同話し合の結果次の様に33年度学習計画の大綱を決定した。
(他学級等との合同研究によるもの、女子学級の別に樹立を要するものを除く。)
12 開講式、カリキュラム作製。
9月23日「話し合い学習の進め方」
27 結婚簡素化について(拡大学習)
10月4日 道徳に対する研究。
11月19日 郷土民謡に対する研究。
12月6日 農家の家屋構造について
20 天候、気象について。
27 野菜の流動と販売を主とした作り方。
1月10日 郷土開発史の研究。
24 食生活改善に関する研究
30 畜産について。
2月7日 世界状況分析。
14 家庭生活の在り方。
私の問題。
28 水稲栽培について。
3月7日 測量と土壌検査について
11 総合現地研修。
21 新農村建設。
28 修業式一反省会。
尚専科学級の第一次研究課題は、「地方野菜の販路並流動の実態と栽培について」に決定。
近く学級章の制定を見る予定。

公民館の足跡

新築以来どう利用されて居る
8月20日(水) 落成祝賀式
21日(木) 町民披露映画 青年団役員会
22日(金) 仮移転
23日(土) 大野婦人会幹部会 熊町小中学生 剣道練習 (夜、日本間)
24日(日) 郡内剣道大会
27日(水) 移動図書館
9月3日(水) 青年学級開講 準備会
4日(木) 正式移転
5日(金) 大中体操 教育委員会(日本間)
6日(土) 民生委員会(日本間) 斎藤代議士 国会報告会
10日(水) 公民館運営 審議会
12日(金) 中央青年学級 開講式
13日(土) 勤労者協議会
17日(水) 郡公連主事会
18日(木) 映画教室
19日(金) 敬老会準備会 (日本間)
20日(土) 大合唱発表準備
22日(月) 大中運動会準備
23日(火) 大熊町戦没者 慰霊祭
成人学級 (福作研究会)
青年学級 敬老会打合せ会
25日(木) 敬老会打合せ会
28日(日) 社会党幹部 打合せ会
30日(火) 共済組合評価 委員会
10月1日(水) 体育祭打合せ会
2日(木) 敬老会準備会
7日(火) 郡内婦人会

学級研修計画 ささまる

9月12日、中央青年学級開講式終了後、学級生一同話し合の結果次の様に33年度学習計画の大綱を決定した。
(他学級等との合同研究によるもの、女子学級の別に樹立を要するものを除く。)
12 開講式、カリキュラム作製。
9月23日「話し合い学習の進め方」
27 結婚簡素化について(拡大学習)
10月4日 道徳に対する研究。
11月19日 郷土民謡に対する研究。
12月6日 農家の家屋構造について
20 天候、気象について。
27 野菜の流動と販売を主とした作り方。
1月10日 郷土開発史の研究。
24 食生活改善に関する研究
30 畜産について。
2月7日 世界状況分析。
14 家庭生活の在り方。
私の問題。
28 水稲栽培について。
3月7日 測量と土壌検査について
11 総合現地研修。
21 新農村建設。
28 修業式一反省会。
尚専科学級の第一次研究課題は、「地方野菜の販路並流動の実態と栽培について」に決定。
近く学級章の制定を見る予定。

養豚に関する 五つの意見

小良浜 佐藤祐禎

これからの農業は、稲を作り麦を蒔き、野菜を作つて売る、と云つた方法では、大百姓は別として中農以下は、完全な行き詰りが来ることは極めて明白な事実であります。

それを打開する方法としてはいろいろあるでしょうが、最近誰でもが云う所の有畜多角経営が最後の決め手という事になりましよう。しかし畜産云々という事になると、あまりにも問題が大きいの

で、資本が少なくてその回収が極めて早い養豚について、特に新たに始められる方々に、私が、数年間のいろいろの参考書も読み、自分の創意も入れて、やつて見ようという事として、お話を申上げて見たいと思ふ。

何れを撰ぶべきか
豚飼いは仔豚を生産する人と、仔豚を買つて肉豚に仕上げる人と、二通りになる訳ですが、果して、どちらを撰んだらよいか、この出発点が大事でありまして、これは各々の条件に応じて自分の農業経営に合致した方を撰ぶこと、仔豚の肥育は誰にでもやれますが、繁殖を志すにはその可能性について種々の条件があると思ふ。



早苗振大会 盛會に終る

第2回、町内早苗振大会は公民館と両農協共催で7月31日約一千二百の観衆を集めて盛會に終りました。今年、特に両農協よりの優勝カップが贈られたが、若人達の、歌謡部門進出が目立つた。

以上四つの条件に、自信のもつて従来は豚を買つて見て大分大きくなつたから、これを売つて了うよ、仔を取つて見ようか、など、豚の資質も、血統も考えず、いつて簡単に種付けをして録でもない仔を三十日位で離して儲つたなど、悦に入つている人も多かつた様ですが、それは豚の少なかつた時代の話で、そんな思ひつきで経営をやつていたのでは、母豚の産仔供用年数も、短かくなるし、そんな駄豚は、かぎりみられなくなるのは当然な話です。始めから目標を立て、仔豚を撰ぶ様、お奨め致します。

仔豚の撰び方
(イ)血統が正しく、悪い遺伝の傾向のないもの、昔から、嫁を貰うなら親を見よと云われ、ますが出来れば血統登記証明書を持ちたいもの、それが手に入らない場合でも……
(ア)首乳頭がなく、完全な乳が十二か、十四、しかも整然と並んで

青年学級開講式挙行
若人達に期待をかけて……
9月12日、33年度大熊町中央青年学級開講式が、挙行された。当日鈴木教育委員長、熊運営審議、委員長、勝山同副委員長、大武勝委員、菅野みよ、委員、吉田取学級運営委員等出席、こもく、たつて、激励の言葉を贈つた。

先づ家庭を明るく
夫沢一区婦人学級便り
夫沢一区婦人学級は、昨年度の活動に引続き、九月二十三日、一区分館で総会を開き今後の学級方針を話し合つた。

赤胴(鈴)之助
大いに頑張る
那内あけての剣士達がぞくぞくと参会、終日覇を争つた。「剣は心なり。剣は礼なり。」その態度の厳正。礼儀の正しさを、小畑名誉会長

流石は先生
部落民あけて感謝
大野中学校校入口は貯水溝工事中、山田商店前の裏道は22号台風で石河原同困つて居つたところ、9月1日早朝、松崎さん、下宿中の双葉高、加藤先生、熊小、新築先生の二人ですつかり補修してくれた。お蔭で町民一般に大助かり。同地班長の佐藤、ミ屋さん「気が付いても実行しない人が多いのに、流石は先生」と大感激。

青年学級たより
話し合いの場を……
信用される子供になろう
9月23日、話し合い学習の進め方に対する研究。小田弘道君を司持つ事が、一番大事だ。

根本岩吉氏
大熊町公民館長
脳溢血の為十二日、熊川の自宅に於て死去された。五十一才。昭和二十二年熊町村村会議員二十七年教育委員となり昨十二月に公民館熊川分館開設に当り選ばれて分館長に就任。

町民の関心は……
町民の会合に拾う
町名問題、町外活動の場合肩身が狭い、名前なんかどうでもよい大熊でよい等々。

親の無理解
それだけだろるか
次に読み合った中から次の二つを取り上げた。

青年団に理解と援助を
青年団は一体何をやってるのか、とよく町民の方から話がありますが我々青年団としては出来る限りの努力をして居るのにと一部団員は不服そう顔をして居ります。

編後記
5月来公民館建築に忙殺され、ほととしい途端22号台風多忙と変化の前半期を終えて久し振りに第10号をお送りします。

